

2019年度立命館大学+R Challenge 奨学金 グローバル教養学部

募集要項

はじめに

立命館大学では、R2020 までの中期的な学園ヴィジョンにおいて、1人ひとりの学生が正課・正課外での様々な学習を通して、「専門的素養」と「Border を超える力＝人間的成長」を獲得することを目指し、学生モデルとして「学びの立命館モデル」をかかげています。本学の奨学金制度は、その実現を支え、励ますしくみとして位置づけられます。

+R Challenge 奨学金は、各学部において正課の成績が良好であり、学部の専門学習、全学共通教育（教職教育・教養教育・外国語教育など）、留学や国際的な学習を通して、問題意識を持ち、それを発展させて学習テーマを追求しようとする学生の学習プロセスを支援することにより、周囲の学生の学びと成長の模範となることを奨励することを目的としています。

グローバル教養学部では、本要項に基づき募集・選考を行います。

1. グローバル教養学部が+R Challenge 奨学金において求める学生像

(1) 知識・理解にかかわること

- ・人間社会の多様性と人類の歴史の多系性について幅広い知識を身につけ、人文学および社会科学の方法論を用いて理解することができる。
- ・特にアジアの諸社会を含む現代世界の多様性について経験的知識をもとに理解することができる。
- ・現代における新しい科学・技術の社会的意義についての知識を身につけ、人文学および社会科学の諸基礎理論に立ち返って理解することができる。

(2) 思考・判断にかかわること

- ・論理的および批判的な思考力を通じて自らの見解を形成することができる。
- ・様々な社会的文脈において倫理的価値を評価し、倫理的な評価の衝突においていかに異なる倫理的視座がとられうるかを考え、よりよい行動の選択肢を熟慮することができる。
- ・多元的な視点と知的な創造性をもって問題発見・解決を導くことができる。
- ・利害や立場の対立を乗り越えて協力を促進するために戦略的に判断を行うことができる。

(3) 関心・意欲・態度にかかわること

- ・高い志やチャレンジ精神を持ち、困難を果敢に乗り越える強い意志と責任感をもって市民として主体的に社会的課題に取り組むことができる。

- ・異なる文化や価値観、立場の違いを互いに尊重し、協働することができる。
- ・知と社会のあいだの関係について実践的に統合された認識と十分な倫理を具えて、研究に取り組むことができる。
- ・問題解決にあたって必要なリーダーシップの感覚を具えて、協働して課題に取り組むことができる。

(4) 技能・表現にかかわること

- ・読解、数量的リテラシー、および情報リテラシーなど、情報を適切に収集・分析するために必要な技法に広く習熟し、効果的に研究に活かすことができる。
- ・自らの知的活動を効果的に表現するために必要なコミュニケーションの技法として、言語運用能力、デザイン能力、マルチメディア運用能力をもち、文書および口頭において効果的に研究成果を発信することができる。

2. 採用人数

1 回生 2 名

3. 給付金額

1 学生あたり 15 万円

4. 募集

4 月入学の 1 回生は秋に、9 月入学の 1 回生および 2 回生～4 回生は春に、募集を行います。

出願受付期間は、以下のとおりです。

1 回生 (4 月入学) : 11 月 1 日 (金) ～11 月 14 日 (木)

5. 出願

奨学金の受給を希望する者は、期日までに所定の出願書類をグローバル教養学部長宛に「8- (3)」に記載されている提出先へ提出してください。

6. 出願資格

+R Challenge 奨学金に出願できる者は、次の資格を満たす者とします。

(1) 出願時に在学しており、前学期に在学していた者。

(2) 成績基準

①春学期に修得した卒業に必要な単位の GPA が上位 1/2 以上であること。

※10 月 31 日 (木) に基準となる GPA を manaba+R で公表します。

(3) その他の基準

特になし

- (4) 立命館大学学則第 57 条による停学の懲戒を受けた者は、懲戒の期間が含まれる年度の出願をすることができません。
- (5) 本奨学金は、卒業時までには 2 回まで受給することができます。

7. 出願書類（記載内容）

- (1) 奨学金を得ようとする目的
- (2) これまでの学習・学生生活で学びえたこと
- (3) 活動計画
- (4) 期待される効果
- (5) 成果公表方法

8. 応募方法

- (1) 提出物
所定の申請書
- (2) 提出期日
11 月 14 日（木）17：00
- (3) 提出先
グローバル教養学部事務室

9. 選考基準および方法

以下の選考基準にもとづいて得点化し、得点の高い者から順に採用します。

- (1) 成績
- (2) 活動実績
- (3) 達成目標の明確性
- (4) 活動計画の具体性および実現可能性

10. 結果の通知

グローバル教養学部長は、奨学生に対して、11 月 29 日（金）に受給の決定および受給の手続きを manaba+R にて通知します。

11. 奨学生の公表

学部・学科・氏名をホームページ（学内のみ）で公表します。

12. 奨学生に求める役割・義務等

奨学生は、以下のことを行うことを義務づけます。

- (1) 学習成果報告書の提出
- (2) 大学から求められた場合、活動報告会等における発表（ポスター発表等）

13. 給付方法

手続きを完了した者に対して、給付金額全額を一括して給付します。給付は、本人名義の銀行口座への振込みにより行います。

14. 給付の取消

学籍を失ったとき、停学の懲戒を受けたとき、正当な事由なく奨学生としての義務を果たさなかったときなどには、給付を取り消し、返還を求めることがあります。詳細は、規程を確認してください。

15. 他の学内奨学金との併給について

+R Challenge 奨学金は、西園寺記念奨学金（成績優秀者枠）、アスリート・クリエーター育成奨学金、スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験特別奨学金、文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験特別奨学金、立命館大学+R 校友会未来人財育成奨学金（成長支援）と、同一年度に併給することはできません。

16. その他

国費外国人留学生は、本奨学金を受給できません。

学外奨学金との併給可否については、各奨学金の規程等を確認してください。

以上